INAX

システムキッチン
ベーシックLila（北海道向け仕様）

施工説明書

このたびは当社商品をお取り扱いいただき
誠にありがとうございます。
このシステムキッチンは非常に高価なものですので
お客様に十分ご満足していただけるよう
本説明書の内容を十分ご理解のうえ、正しく
お取り付けください。

もくじ

●安全上のご注意（必ずお守りください） ―― 1
●施工前の確認
1．部材の確認 ―― 4
2．施工現場のチェック ―― 4
●施工方法
1．墨出し ―― 5
2．付属品の確認 ―― 6
3．ウォールキャビネットの取付け ―― 6
4．レンジフードの取付け ―― 7
5．ベースキャビネットの取付け ―― 7
6．カウンターの仮取付け ―― 8
7．カウンターの取付け ―― 9
8．L形カウンターの接続部の仕上げ ―― 10
9．食器戸棚の取付け ―― 10
10．冷蔵庫用サイドパネルの取付け ―― 11
11．支輪の取付け ―― 11
12．水栓金具・排水器具の取付け ―― 11
13．ビルトイン機器の取付け ―― 12
14．配管・配線の接続 ―― 12
15．コーキング ―― 12
16．取っ手の取り付け ―― 12
●施工後の調節
1．扉の調節 ―― 13
2．施工後の確認と養生 ―― 14

工事店様用

●安全上のご注意〈必ずお守りください〉

■ここでは、施工作業者の方が、安全にシステムキッチンの取付作業を行って頂けるように、取付作業中の事故を回避するための注意事項と、取付後ご使用になる方が、システムキッチンを安全にご使用頂けるように、使用中の事故を回避するための施工上の注意事項をあげています。
この安全上の注意事項をよくお読みの上、正しく施工を行ってください。

●施工完了後、施工後の確認事項にしたがって各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
粉失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。

■警告表示の見方

●表示内容を無視して誤った施工をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「使用者または施工者が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「使用者または施工者が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

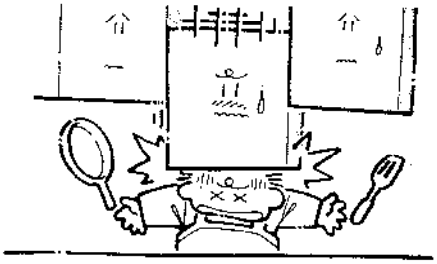
⚠警　告

電気配線の接続・電気コンセントの設置の必要な場合は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。
※誤った方法で行うと施工中及び使用中の発煙・火災・感電の原因となります。

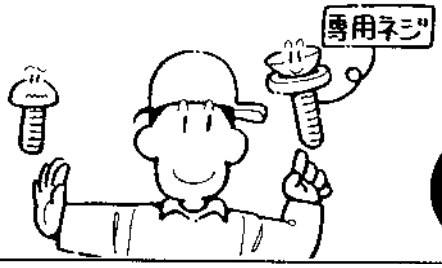
人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は、接着剤に付属の施工説明書（注意表示）に従って正しく使用し、後処理してください。
※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因になります。

⚠ 注　意

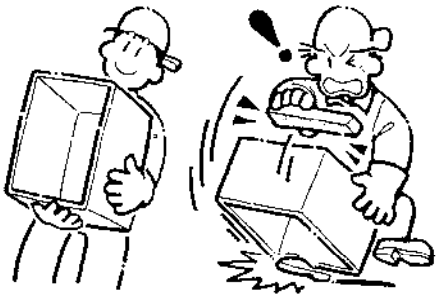
ウォールキャビネットを取り付ける取付用木が指定通りにできていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



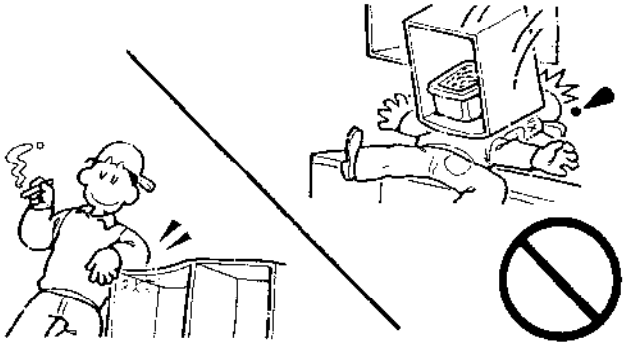
ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。
※適切なねじを使用せずに取り付けると、ねじの緩みが原因で使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



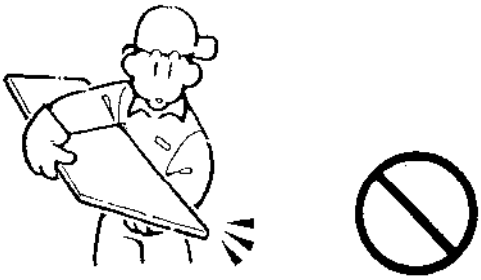
キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。
※キャビネットの桟木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。



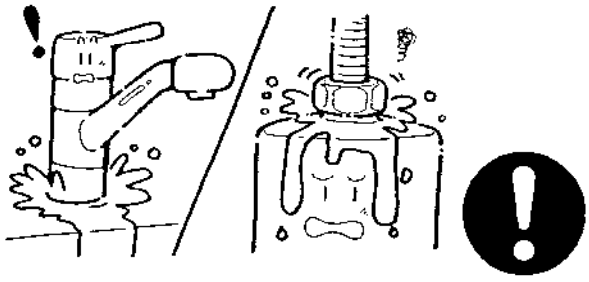
取付途中のキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。
※キャビネットが破損または落下してケガをする恐れがあります。



人造大理石カウンター・ステンレスカウンターのL形コーナー接続部の鋭角部分には直接手を触れないようにしてください。
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。

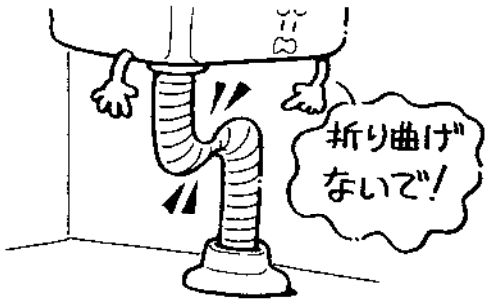


水栓金具・排水部品(大形ごみ収納器・他)の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。
※ナットの締付けが十分でないと使用中に取付部から漏水する恐れがあります。

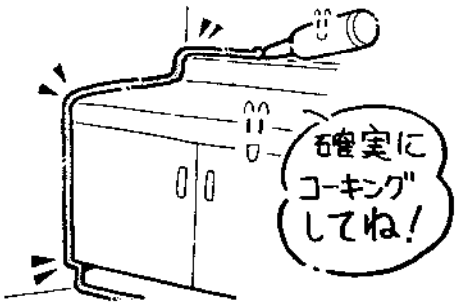


⚠ 注　意

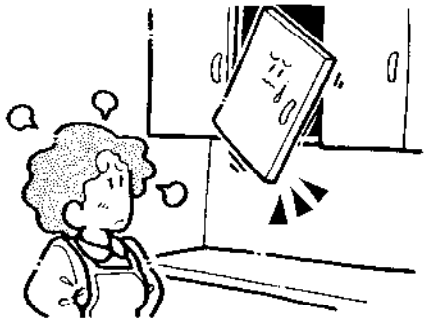
排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水口との接続を確実に行ってください。
※使用中の漏水の原因となります。



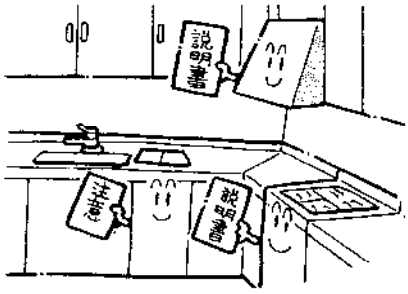
シリコンコーキングの指示箇所は、確実にコーキングを行ってください。
※コーキングされなかったり、コーキング不十分な場合水が浸入し、壁・床の腐食の原因となります。



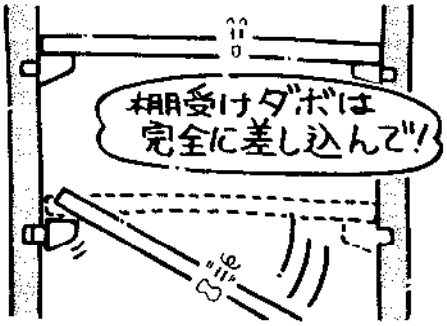
扉の調節後は全ての扉の指定のねじを固く締め付けてください。
※締付けがあまいと、蝶番が外れ、扉が落下する恐れがあります。



ビルトイン機器(換気用機器・加熱調理機・その他の機器)については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧いただき、正しく施工を行ってください。
※誤った施工を行うと思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。



棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットしてください。
※棚板が落下してケガをする恐れがあります。



●施工前の確認

1.部材の確認

受け取った商品について部材品番明細表を基に、品番・数量をチェックしてください。システムキッチンは点数が多く間違い易いので、入念に行ってください。

2.施工現場のチェック

施工図面どおり現場ができているか、以下の項目について確認してください。

1.壁の垂直度
2.壁間寸法
3.床の水平
4.窓の位置
5.ウォールキャビネット取付用木の位置及び寸法

⚠注　意

ウォールキャビネットを取り付ける取付用木が指定通りにできていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

6.給排水管の位置
7.ガス管の位置
8.電源取出位置
9.排気口の位置及び寸法

●施工方法

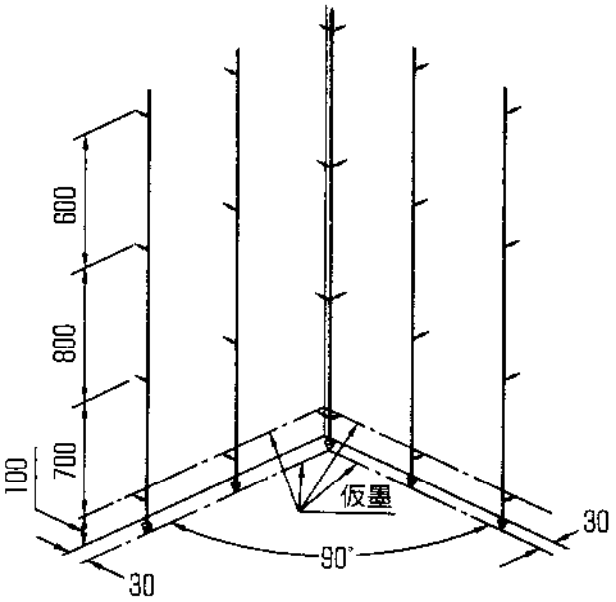
1.墨出し

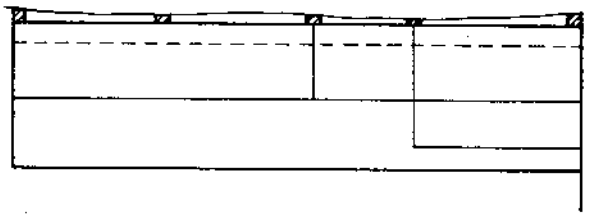
(1)基準墨出し

①プラン上、長辺側の床に壁から30㎜の寸法で仮墨を打ちます。

②カネ尺または3：4：5の直角三角形の原理を利用して直角を出し、同様に短辺側の床に仮墨を打ちます。

③1m程度の間隔で下げ振りを下ろし、下図の左側に記入した高さの部分の下げ振りから壁までの寸法を測定し、最も突出した部分を探し出します。寸法は記入しておいたほうがよいでしょう。
最も突出した点を含む垂直面、水平面がそれぞれ壁、床の基準面になります。





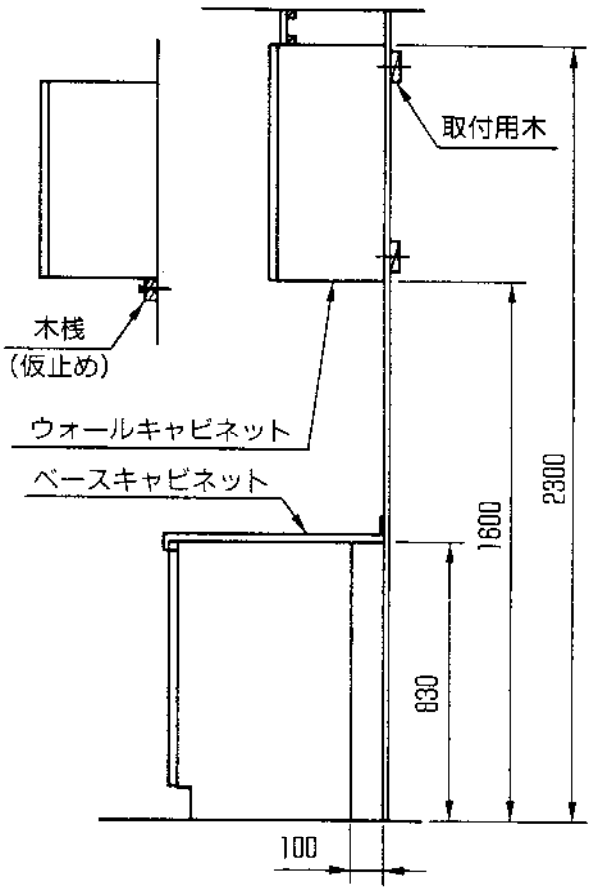
(2)取付用墨出し

①仕上がり床面を基準にして、ベースキャビネットの上端、ウォールキャビネットの下端（または上端）の位置に正確に墨出しします。（床の仕上げはシステムキッチンを取り付ける前に完了していることが原則です。キッチン取付けの後、床を仕上げる場合は、仕上材の厚みを考慮して取付位置を決めないと、ビルトイン機器のメンテナンスができなくなります。）

②墨出し終了後、排気口、窓枠など高い精度が要求される寸法を再度チェックします。

＊主要寸法　イ）標準取付高さ…2300㎜
（ウォールキャビネット上端）
ロ）ウォールキャビネット下端高さ
…1600㎜
ハ）ベースキャビネット上端高さ
一般の場合……830㎜

※実際のウォールキャビネットの取付けの際は、支えのため木桟を下図のように仮止めしておくと便利です。



2.付属品の確認

シンク用ベースキャビネット及び、その他のキャビネットに次の付属部品が同梱されています。

カウンター固定金具	カウンター固定金具用ねじ	キャビネット連結ねじ	キャビネット取付用木ねじ
×4ケ/ベースキャビネット1台 品番：SK00010SUS 寸法：L40×40×W45	×16本/ベースキャビネット1台 品番：SK00030035 寸法：3.5×10(AナベTp)	×5本/キャビネット1台 品番：SK00020SUS 寸法：3.8×26(コースレッドスクリュー)	×6本/キャビネット1台 品番：SK00040W00 寸法：5.0×50(Aトラス+Tp)

棚受けダボ	扉取っ手	
	Tシリーズ	Kシリーズ
×6組(W1350mmウォール) ×2組(W300, 450mm不燃ウォール) 品番：SK00120H01 ＊1組とは、棚板手前・後方用×各2ケ。 棚板手前用　棚板後方用		

3.ウォールキャビネットの取付け

⚠ 注　意

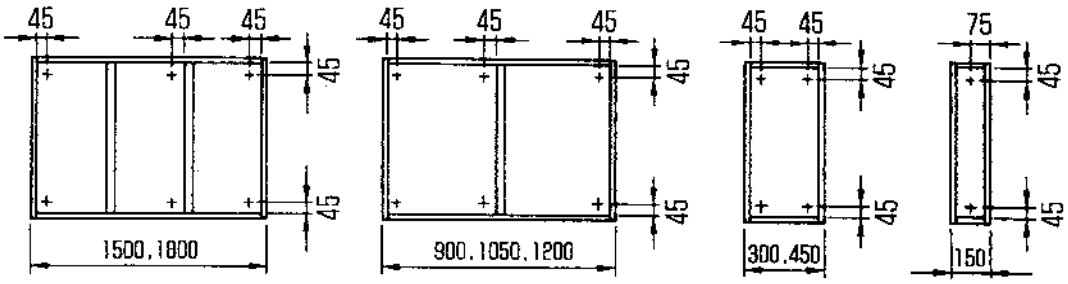
取付途中のウォールキャビネット内・外に工具などの重量物を載せたり、もたれ掛かって力を加えたりしないでください。
※取付中のキャビネットが落下、または破損してケガをする恐れがあります。

ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。
※適切なねじを使用せずに取り付けると、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

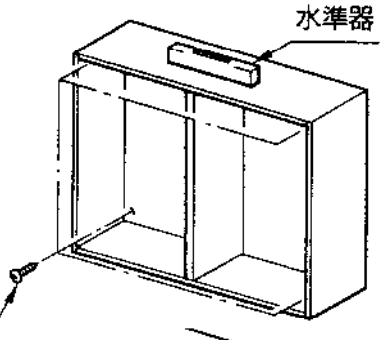
キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。
※キャビネットの桟木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。

棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットしてください。
※棚板が落下してケガをする恐れがあります。

(1)ウォールキャビネットの背板に壁面固定用の下穴φ6をあらかじめあけます。



(2)先に取り付けるべき、ウォールキャビネット（L形の場合は、隅ウォールキャビネット）を水準器等を利用してキャビネット取付用木ねじで壁面へ正確に取り付けます。

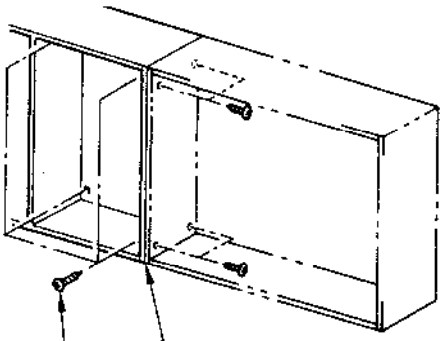


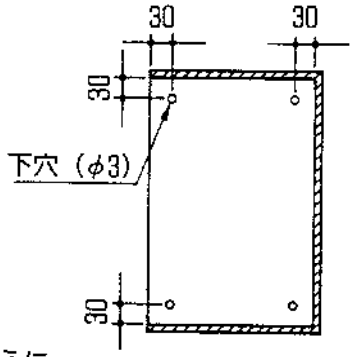
(4)レベルを調節しながらウォールキャビネットをキャビネット取付用木ねじで壁に仮固定します。

(5)以下、(3)〜(4)を繰り返して取り付けます。壁との隙間をくさびなどで調節しながら、ウォールキャビネットの前面が一直線になるよう木ねじを締め付け直します。

(3)本体前面、下面が合うように次のウォールキャビネットをキャビネット連結ねじで接続します。

※この時一方のキャビネットの側板にφ3の下穴をあけてから接続してください。





連結用下穴位置

4.レンジフードの取付け

レンジフードに付属の工事説明書に基づいて取り付けます。

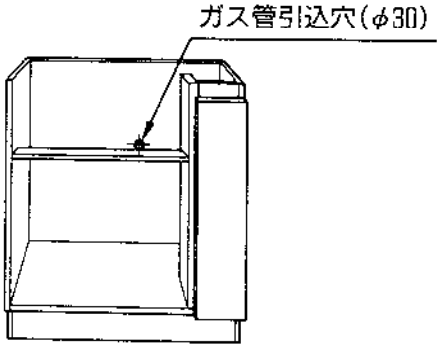
5.ベースキャビネットの取付け

⚠ 注　意

取付途中のベースキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。
※キャビネットが破損してケガをする恐れがあります。

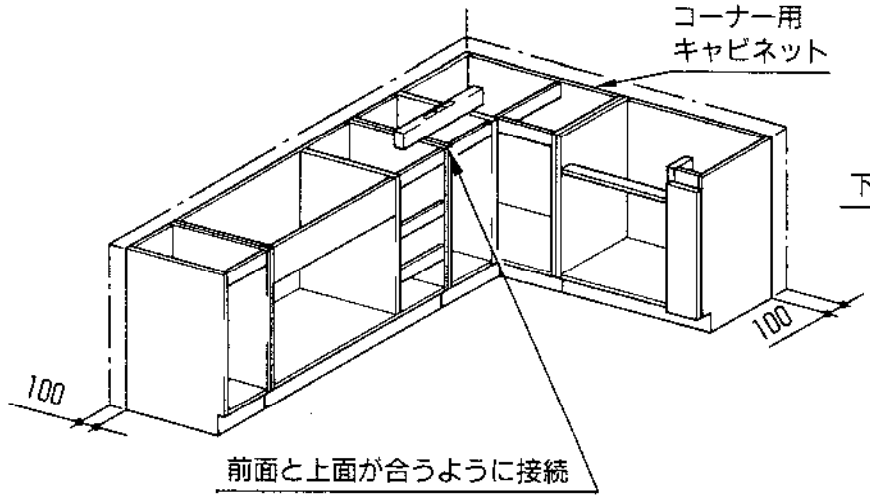
(1)図面に基づきベースキャビネットを所定の位置に仮設置(壁面より100mm手前)します。
(2)ホルソー、自在キリなどを利用して、ガス管の穴あけ(φ30)をします。

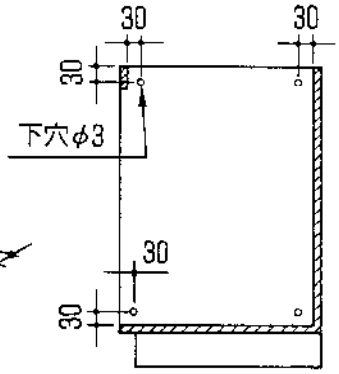
ビルトインコンロのガス管用穴あけ



※シンクベースキャビネット背板への給水・給湯管引込の穴あけは、不要です（背板後方での接続となります）。

(3)ベースキャビネット上端の壁(H:840)を基準に、水平器でレベルを確認しながら全てのベースキャビネットをキャビネット連結ねじで接続します。
※この時ウォールキャビネットと同様に、側板にφ3の下穴を開けてください。
※レベルの調節は、木片、くさび等（現場調達）を利用してください。





連結用下穴位置

6.カウンターの仮取付け

⚠ 注　意

人造大理石カウンター・ステンレスカウンターのL形コーナー接続部の鋭角部分には直接手を触れないようにしてください。
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。

(I形カウンターの場合)

カウンターをベースキャビネットの上に仮置きし、ベースキャビネットとの両端の収まりを確認して微調節します。

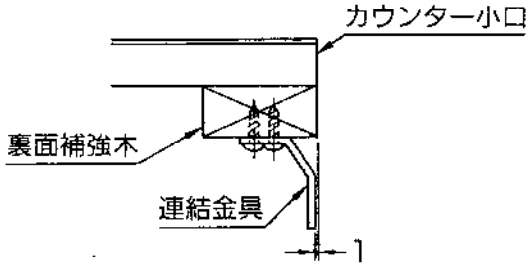
(L形人造大理石カウンターの場合)

シンク・ガス機器側カウンターをベースキャビネットの上に仮置きし、ベースキャビネットとの両端の収まりを確認して微調節します（同カウンターの接続は、連結金具を使用しません)。

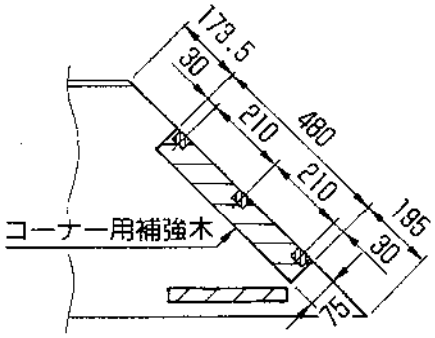
(L形ステンレスカウンターの場合)

(1)平担な床面にカウンターを裏返しにして置き、カウンターの連結金具に同梱の説明書に従ってカウンターの連結金具を所定の位置に取り付けます。

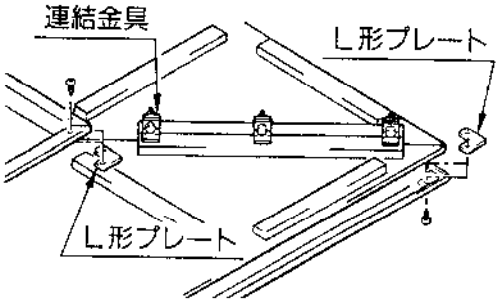
●カウンターに同梱の連結金具(KP-352)を、カウンター接続小口面より1mm控えた位置で金具取付木に固定してください。

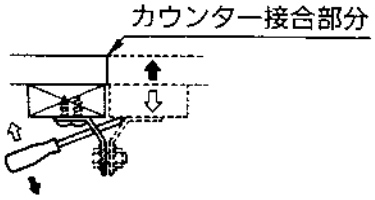


●取付箇所はそれぞれ3箇所で、指定の位置に取り付けてください。



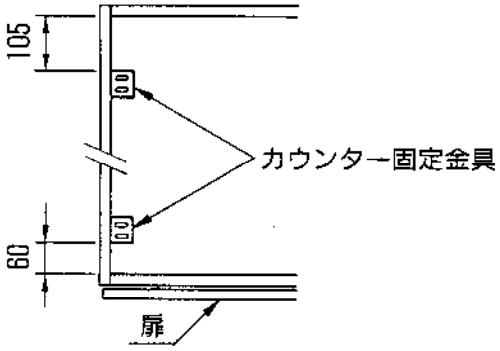
⑵取り付けた連結金具を利用してカウンターの仮接続を行います。
前垂れ下端部、バックガード上端部にL形プレートも仮固定します。
⑶カウンターをもとに戻し、ベースキャビネットの上に仮置きします。
⑷双方のカウンターのレベル調節をしながら締付ボルト、L形プレートをしっかりと固定します。(高さの調節は「人造大理石カウンターの場合」と同様に行ってください)。
⑸カウンターの位置を合わせ、コーナーの接続部分を裏面から連結金具で固定します。
※ボルトはゆるめにし、連結金具の調節穴にドライバーを差し込んで上下させ、高さの微調節を行ってください。
⑹ボルトを本締めします。

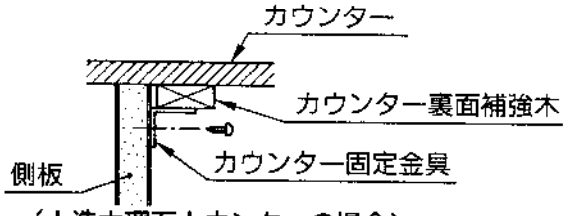




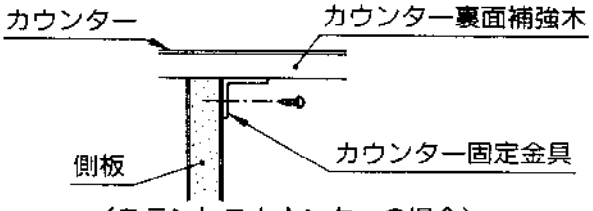
7.カウンターの取付け

⑴キャビネットに仮置きしたカウンターの裏面補強木位置を確認します。
⑵カウンター固定金具をベースキャビネット側板及びカウンター裏面補強木下面の2面に接するよう側板へ取り付けます。
※キャビネット奥行方向のカウンター固定金具取付位置は下図のようにしてください。



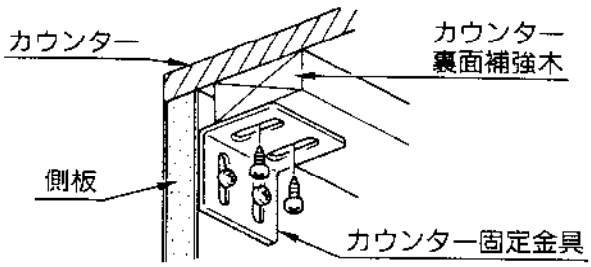


(人造大理石カウンターの場合)



(ステンレスカウンターの場合)

⑶カウンター固定金具を側板へ取り付けた後、カウンター裏面補強木へ固定します。



※現場での取付けが煩雑となるようなキャビネットには、あらかじめカウンター固定金具を取り付けております。金具取付位置(高さ)は「人造大理石カウンター」が設置される場合の設定で取り付けてあります。
※金具をあらかじめ取り付けているキャビネット
●W150ベースキャビネット
●コーナー用ベースキャビネット

8.L形カウンターの接続部の仕上げ

⚠ 注　意

L形コーナー接続部に接着剤（人造大理石カウンターの場合）又はシリコン（ステンレスカウンターの場合）を前垂れからバックガードまで十分に充填し、仕上げ後再度確認してください。
※接着剤又はシリコンの充填が不十分で接続部にすき間があると使用中の漏水の原因になります。

〔人造大理石カウンターの場合〕
カウンターに付属の施工説明書に基づき同梱樹脂で仕上げます。

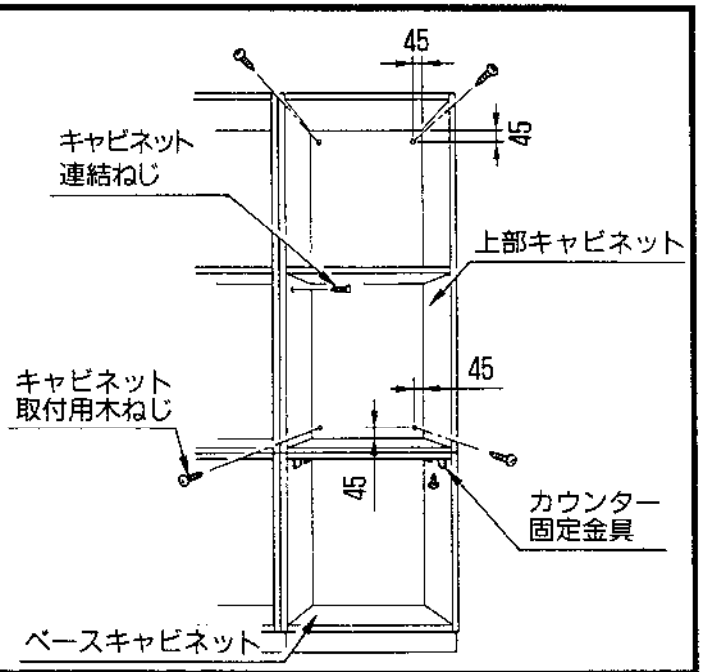
⚠ 警　告

人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は接着剤に付属の施工説明書(注意表示)に従って正しく使用し、後処理してください。
※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因になります。

〔ステンレスカウンターの場合〕
カウンターに同梱されているシリコンで仕上げます。
(1)コーキングの目地幅を残しマスキングテープを張ります。
(2)シリコンを奥まで詰めるように打ち、指で仕上げます。
(3)マスキングテープをはがします。
※シリコンが完全に硬化するまで（約24時間）手をふれたり、ゴミ・ホコリが付かないよう注意してください。

9.食器戸棚の取付け

(1)食器戸棚用ベースキャビネット（側板上面合せ）にカウンター固定金具を取り付けます。
(2)食器戸棚用上部キャビネットの背板に壁面固定用の下穴φ6をあらかじめあけます。
(3)食器戸棚を所定の位置に仮置きし、隣接するキャビネットとの整合に注意して、隣接キャビネットとキャビネット連結ねじで接続します。
※この時一方のキャビネットの側板にφ3の下穴をあけてから接続してください。
(4)食器戸棚用ベースキャビネット内部から、カウンター固定と同じように上部のキャビネットを固定します。
(5)最後に食器戸棚内部より、キャビネット取付用木ねじで壁面にも固定します。



10.冷蔵庫用サイドパネルの取付け

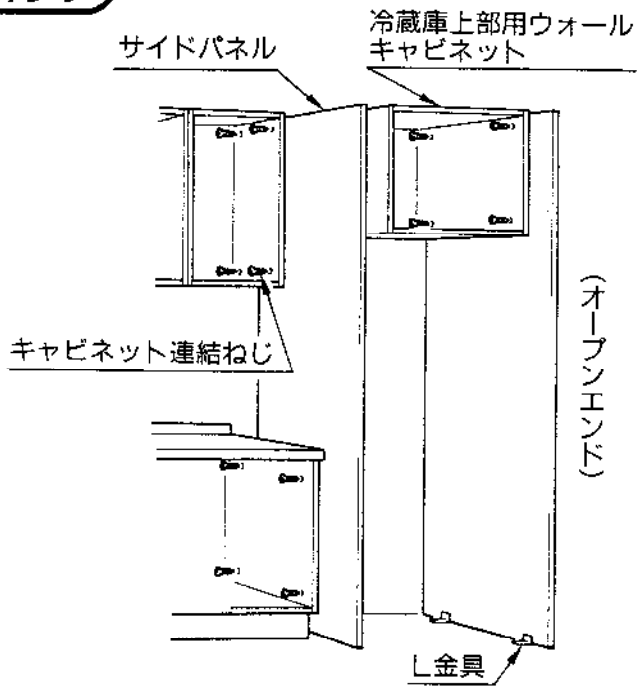
※高さは2,400㎜です。現場に応じて切断してください。

(1)冷蔵庫上部用ウォールキャビネットの背板にもウォールキャビネット同様の位置に壁面固定用の下穴φ6をあらかじめあけ、キャビネット取付用木ねじで取り付けます。

(2)隣接するウォールキャビネットと、冷蔵庫上部ウォールキャビネットとの間にサイドパネルを挟み込み、キャビネット連結ねじで固定します。

※この時、キャビネットにφ3の下穴を開けてください。

(3)冷蔵庫用サイドパネルがオープンエンドの場合は、パネルの下端を付属のL金具で床に固定します。

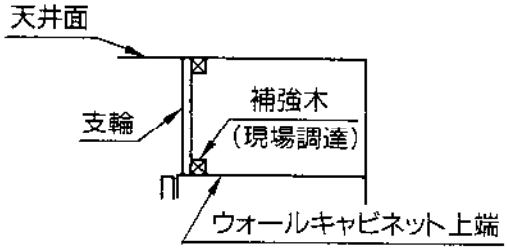


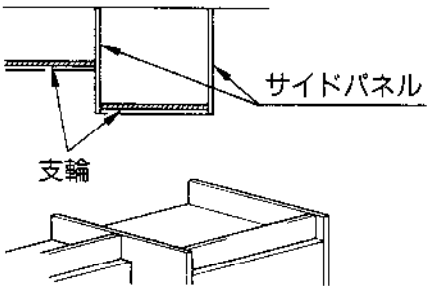
11.支輪の取付け

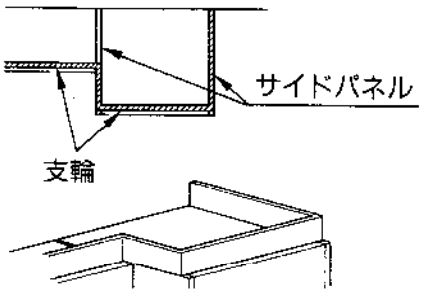
(1)支輪を必要寸法に切断します。

(2)キャビネット上部及び天井部に補強木（現場調達）を取付け支輪を接着剤等で補強木に取り付けます。

※冷蔵庫上部の支輪の取付方法には、次の2通りがあります。現場に応じて対応してください。







※2枚以上の支輪で取付けを行う場合、キャビネットの継ぎ目あるいは、扉割の位置に合せて処理してください。

12.水栓金具・排水器具の取付け

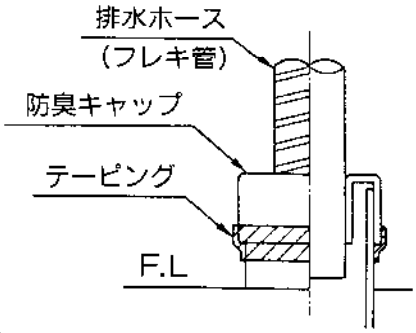
⚠ 注　意

水栓金具・排水部品（大形ごみ収納器等）の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。

※ナットの締付けが十分でないと使用中に取付部から漏水する恐れがあります。

排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水口との接続を確実に行ってください。
※使用中の漏水の原因となります。

(1)水栓金具はシンクキャビネットの背板点検口を取り外し、専用工具(KG-9)を用いて取り付けます。
※水栓金具に同梱の取付説明書をご覧ください。
(2)大形ゴミ収納器を専用工具（HG-1A）を用いて取り付けます。
(3)排水ホースを大形ゴミ収納器へ取り付けます。
(4)排水ホースと排水取出口の接続部分は防臭キャップを取り付け、固定します。
※一次側排水管との接続は右図のように行ってください。
※防臭キャップと一次側排水管の接続は漏水防止のため、接着を行ってください。



13.ビルトイン機器の取付け

ビルトイン機器を機器に付属の説明書に従って取り付けます。

14.配管・配線の接続

専門の工事業者に依頼し、ガス管、給水・給湯管、電気配線の接続を行います。

15.コーキング

⚠注　意

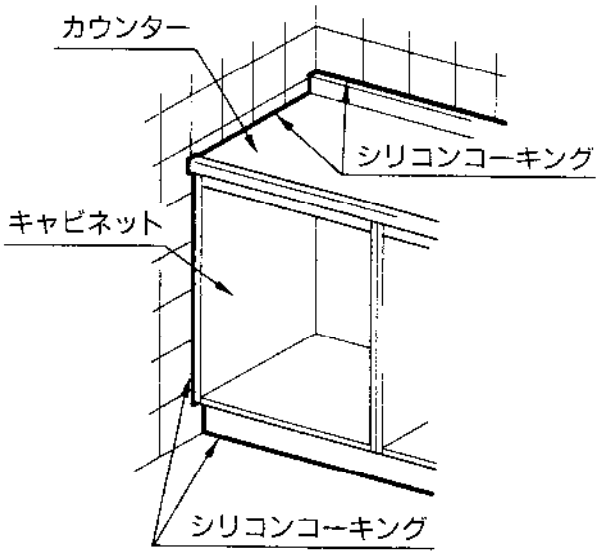
シリコンコーキングの指示箇所は、確実にコーキングを行ってください。
※コーキングされなかったり、コーキング不十分な場合水が浸入し、壁・床の腐食の原因となります。

●カウンターまわりのコーキング

(1)カウンターと壁やトールキャビネットとの合わせ部分にシリコンコーキングの目地幅だけ残し、両側にマスキングテープを張ります。
(2)タイル用目地の上に重ねてシリコン（白）コーキングします。
(3)マスキングテープをはがします。

●キャビネットまわりのコーキング

カウンターまわりと同様にキャビネットと壁の間、けこみ巾木と床の合わせ部分にシリコン(クリアー)コーキングします。
※壁とカウンターのすき間が大きい場合は、スポンジテープなどのバックアップ材を装てんしてシリコンコーキングしてください。

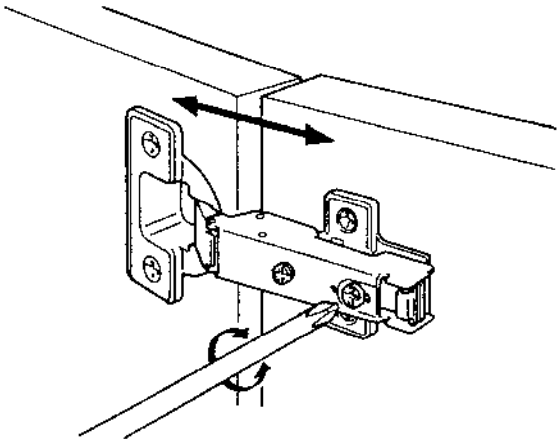


16.取っ手の取付け

付属の取っ手を、取付用ねじで全ての扉に取り付けます。

●施工後の調節

1.扉の調節

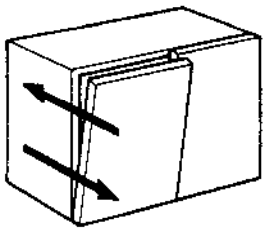


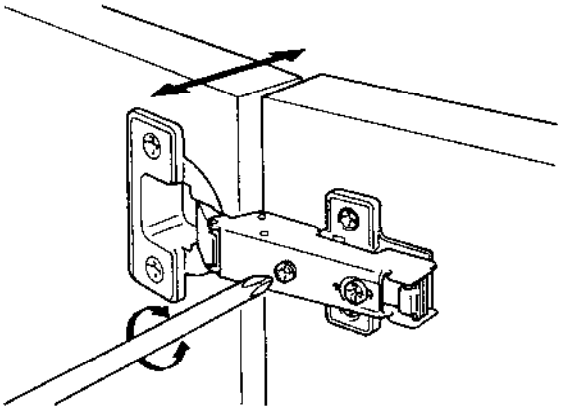
●扉の前後調節

前後調節ねじをゆるめ、扉を調節後締め直して下さい。

アジャスト量

前方向1.5mm、後方向1.5mm
(合計3mm)



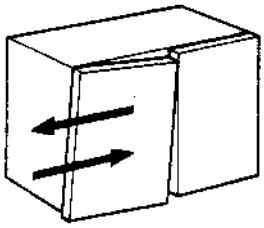


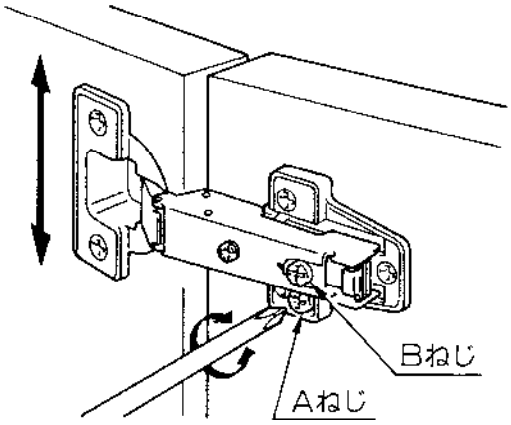
●扉の左右調節

前後調節ねじを締めたまま左右調節ねじを回して扉を調節して下さい。

アジャスト量

扉内方向4mm





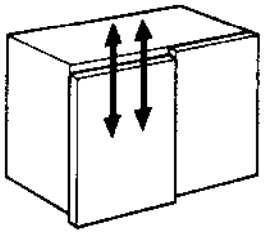
●扉の上下調節

(ベースプレートにより移動が可能です。)

上下調節ねじをゆるめて上下調節した後締め直して下さい。

アジャスト量

上方向1.5mm、下方向1.5mm
(合計3mm)



⚠ 注　意

調節後は全ての扉のAねじおよびBねじを固く締め付けてください。
※締付けが不十分な場合、蝶番が外れ、扉が落下する恐れがあります。

2.施工後の確認と養生

●施工後の確認

(1)排水部品に通水し、各接続部から漏水のないことを確認します。

(2)ビルトイン機器は、機器に付属の説明書に従って、施工後の点検を行います。

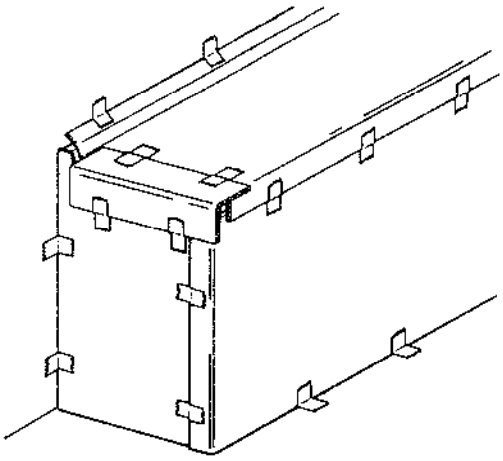
●養生

確認が完了したらキャビネットの梱包材などを利用し、汚れ、キズのつかないよう養生します。

お願い

(1)テープを使用し養生を行う場合
キャビネットなどの商品へテープ糊面が直接、付かないようにしてください。
糊面が付きますと商品表面に悪影響を及ぼす場合があります。

(2)シンク・ガス機器上面を養生で覆ってしまう場合
注意を促すために『シンク注意』『ガス機器注意』と表示をしてください。



INAX

株式会社INAX
本　　社☎0569-35-2700　札幌支社☎011-271-1701

P KU-0008 (95100)